

整形外科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることにより行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究にかんする倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。また、当研究に情報を利用することをご理解いただけない場合につきましても、以下の「問い合わせ先」へご連絡ください。

〔研究課題名〕 大きな開窓による端側吻合法を用いた遊離皮弁術後の吻合部の血行動態の変化

〔研究機関〕 帯広厚生病院整形外科

〔研究責任者〕 本宮真（帯広厚生病院 整形外科科 第2主任部長）

〔研究の目的〕 私たちは、遊離皮弁手術後の血流の変化をより詳しく調べる研究を行っています。遊離皮弁手術とは、体の他の部分から皮膚や組織を移植し、傷や病気でダメージを受けた部分を再建する手術です。この手術の成功には、移植した皮弁に十分な血流があることが重要です。この研究では、通常の音のドプラという機器を使った血流チェックに加えて、超音波検査（パルスドプラやカラードプラ）を使い、血流の様子を詳しく調べます。特に、移植した皮弁だけでなく、皮弁がつながっている血管の末端部分の血流が正常に流れているかを評価することが目的です。研究にご協力いただく場合、通常の術後の血流モニタリングに加え、可視化できる超音波検査を行います。これにより、検査の時間が少し長くなりますが、身体に負担がかかることはありません。この研究は、今後の手術の成功率向上に役立つと考えています。皆さまのご協力をお願いできれば幸いです。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん：2024年10月から2026年3月までに当院整形外科にて、四肢軟部組織欠損に対して遊離皮弁を受けた患者様。

●利用するカルテ情報

- ①年齢、性別、病歴情報
- ②皮弁の情報
- ③皮弁の成績と合併症
- ④ 超音波検査による血流データ

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌等で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

〔問い合わせ先〕

北海道帯広市西14条南10丁目1番地
JA北海道厚生連 帯広厚生病院
整形外科 担当医師 本宮真
電話 0155-65-0101